

顧客ニーズに対応できる 多機能真空熱処理装置導入

小型で多機能の真空熱処理装置を導入し、低コストや加工の多機能化などを生かして、生産性の向上や、新分野への事業進出などを実現し、売上拡大に結びつけることを目指しました。

事業取り組みの経緯

当社は、オムロンの山鹿工場（現オムロンリレーアンドデバイス）のグループ会社として設立され、電磁石で稼働するリレー部品など磁気回路を作る金属の磁性焼鈍加工を行う専門工場でした。生産のピークは、パブル崩壊直前の頃でリレー部品の生産台数は、フル稼働時で月産4000万～5000万個生産していました。そして、この度新しく多機能真空熱処理装置を導入して、業務の効率化や新規事業立ち上げを目指しました。



従来から使用する大型の真空熱処理装置

実施内容

平成28年12月に約4000万円を投じて新しく多機能真空熱処理装置を導入しました。従来の真空熱処理装置は試作品立ち上げに燃料費が2、3万円かかり、熱処理加工の炉の容量は250キログラムの大型炉でした。新しく導入した真空熱処理装置は、炉の容量は50キログラムと小型で、なおかつ、真空浸炭処理や焼き戻し加工、ロウ付け加工などが出来る多機能炉となっており、小容量での試作ができるなど使い勝手が良い熱処理炉です。

事業取り組みの成果

試作製造を中心に活用して、決定すれば量産ラインに移行するという使い方をしています。新しい多機能真空熱処理装置は導入約3年目で、2件の新規受注に結びつ



平成27年度ものづくり補助事業で導入した多機能真空熱処理装置



補助金活用のポイント！

県内企業を対象に半導体製造装置や自動車製造ラインに用いられる制御盤の組み立て事業を今後も推進していきます。また、熱処理事業を核として、新しい分野の柱の構築もめざしていく計画です。



求める事業パートナー及び支援策

まず収益基盤を確立し、次の段階で、他分野企業との連携を推進し、新事業の柱を構築していきたいと考えています。今後も磁性焼鈍と連続炉を活用した低コスト、高効率加工のメリットを続けていき、新分野の事業との連携など可能性を模索していきます。

自動車業界は、
電気自動車の進展が見られます。
自動車の電氣的な多機能化に対応した
新しい部品の製造も行う計画です。
取引先は関東や関西まで拡大し、
営業部門を専任化するなど
強化していきます。

きました。1件は電気自動車の車載用リレー部品のロウ付け処理です。また、もう1件は建設機械の油圧用バルブの電磁弁部品の処理です。現在でも取引先の60～70%がオムロン関連案件ですが、建設機械や半導体関連など他分野の仕事の受注も積極的に進めている状況です。



ロウ付け加工中のDCパワーリレー部品

COMPANY PROFILE

株式会社 美加川製作所

代表者名	代表取締役 高島 正幸
設立年月	1976年3月
所在地	〒861-0522 熊本県山鹿市久原 4230-16
TEL	0968-44-7444
FAX	0968-43-2331
URL	http://www.mikawa-ht.jp/
資本金額	1000万円
従業員数	15人
業種	電気機械器具、部品製造、金属熱処理加工



代表取締役
高島 正幸さん